早崎海岸

早崎海岸へようこそ。島原半島最南の海岸にあるこの爽快な道を歩けば、この地域最古の噴火の名残を間近に見ることができ、噴火によりここに住む人々にもたらされた多くの恵みを確認できる。

約 430 万年前、海底火山が形成され始めた。これが島原半島の誕生である。火山の成長の各段階で異なる物質が生み出された。まず、マグマが海水に触れて起きた強力な噴火により大量の火山灰が発生した。これが主に南に見られる細かい黄色い土となった。さらに火山が成長し続けるにつれて、溶岩流が空気中で冷やされ、赤褐色の玄武岩が形成された。最終的に、雲仙火山群となる新しい火山の大噴火につながっていく；そうして島原半島が誕生した。

半島の南にあるのは早崎海峡で、下島と天草諸島の他の島々が遠くに見える。海峡が狭く深いため漁業には素晴らしい環境となっている。地上では、鉄分豊富な火山土壌は玉ねぎやいも類などの根菜類の生育に理想的であり、火山岩を細かく砕くと壁やテラスづくりに最適である。

この道はまた九州自然歩道と九州オルレの一部でもある。